

沿岸定線観測速報 ちば (2020年10月)

ふさみ丸：10月2~13日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和2年10月21日

黒潮は犬吠埼沖でやや離岸して北東に流れていました(図2)。
水温は、外房沿岸では海面及び水深50mは平年よりやや高め、水深100,200mは平年並でした。
また、銚子・九十九里沿岸は全層が平年並でした(表1)。

(詳細)

水深10mの水温は、犬吠埼~九十九里のごく沿岸は21~23℃、それ以外の海域は24~27℃でした(図3)。野島埼や太東岬沿岸の表層では鉛直混合が強まり、海面から水深50m層まで水温がおおむね一様になっていました(図5)。

クロロフィル濃度は、水深10m層ではごく沿岸が沖よりやや高めでした(図7)。一方、水深50m層では野島埼付近でクロロフィル濃度がやや高くなっていました。

キンメ漁場の底層水温は、勝浦沖は例年より約5℃低め、銚子沖はほぼ例年並でした(図8)。海面の流れは、勝浦沖、銚子沖いずれも0.5~0.6ノットで速い流れは見られませんでした。

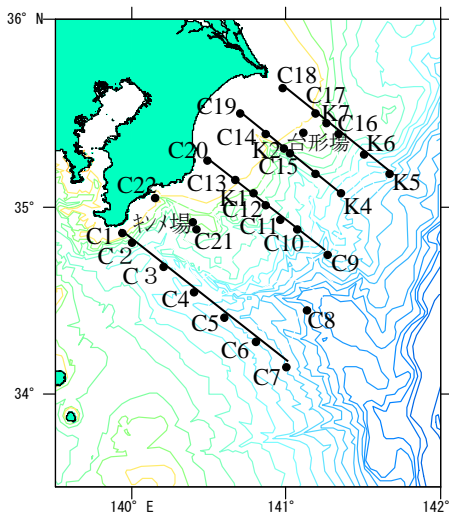


図1 調査点 (C15,16及びK1~7は欠測)
線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島埼南東線

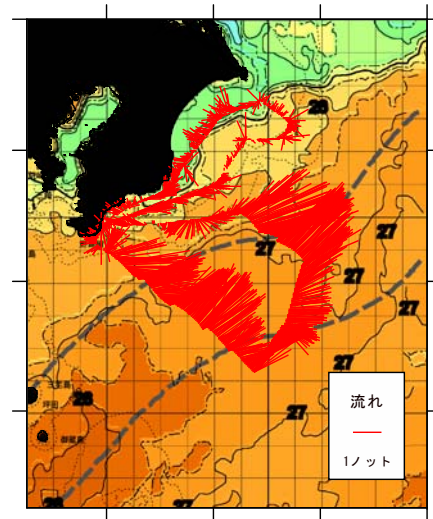


図2 観測時の海況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	23.7 平年並	23.1 平年並	16.4 平年並	欠測
外房	25.0 やや高め	25.3 やや高め	18.2 平年並	11.7 平年並

*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14~20 計7点)

(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

*沿岸水温評価の目安 (σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ ~
高め	1.3 σ ~ 2.0 σ
やや高め	0.6 σ ~ 1.3 σ
平年並み	0.0 σ ~ 0.6 σ
平年並み	-0.6 σ ~ 0.0 σ
やや低め	-0.6 σ ~ -1.3 σ
低め	-1.3 σ ~ -2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ ~

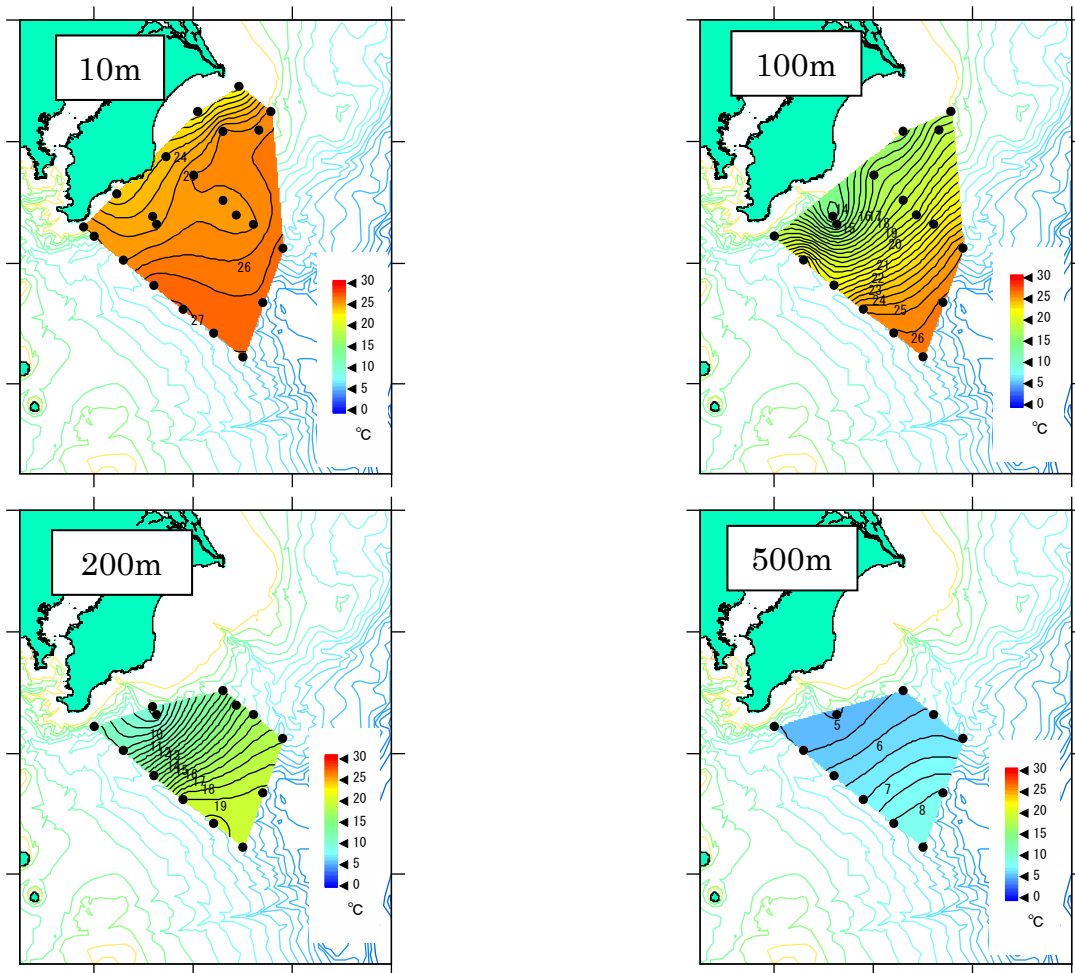


図3 水深別の水温分布

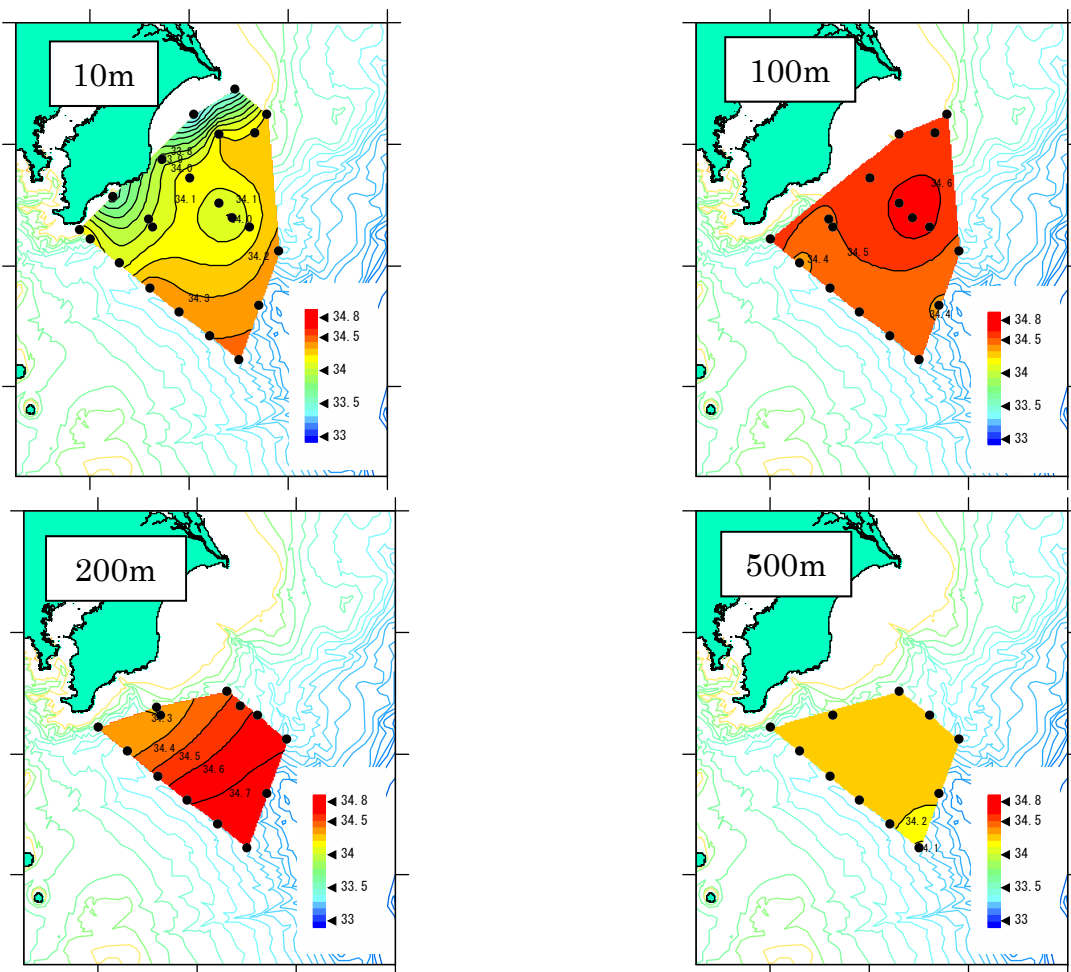


図4 水深別の塩分分布

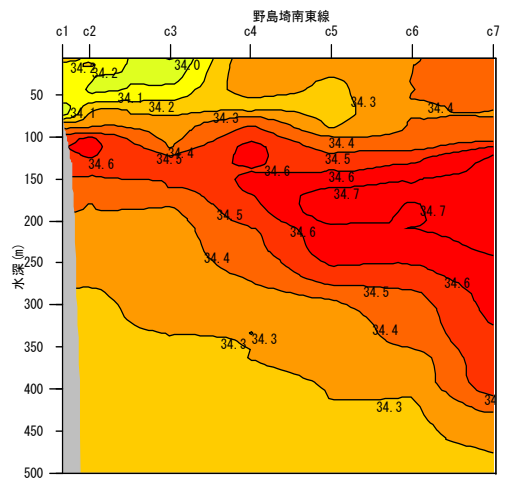
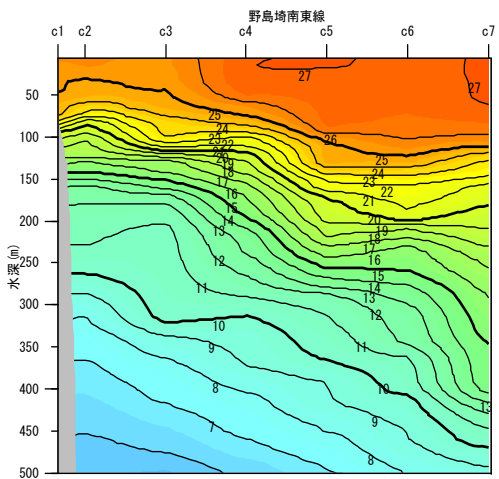
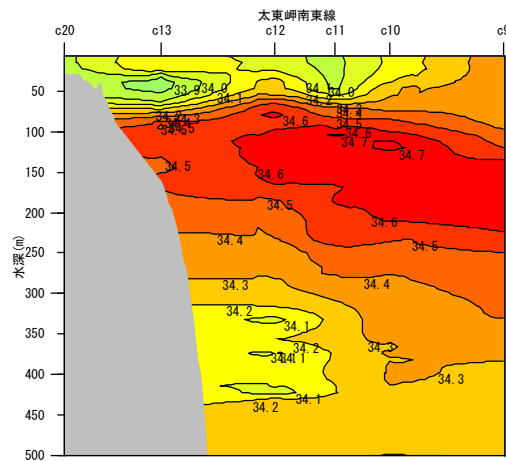
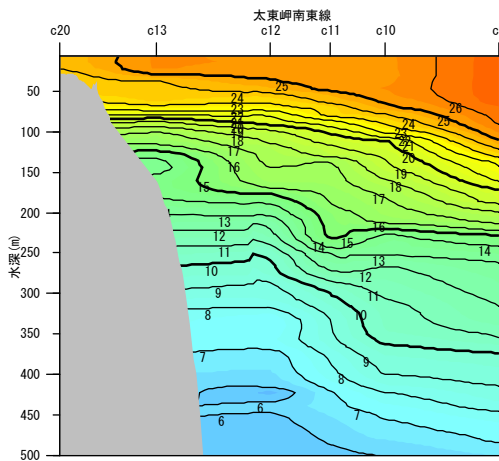
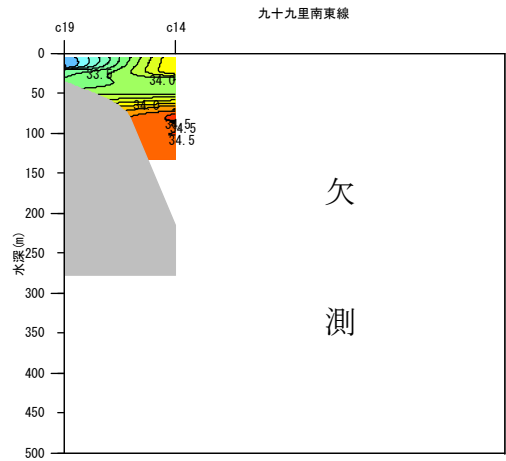
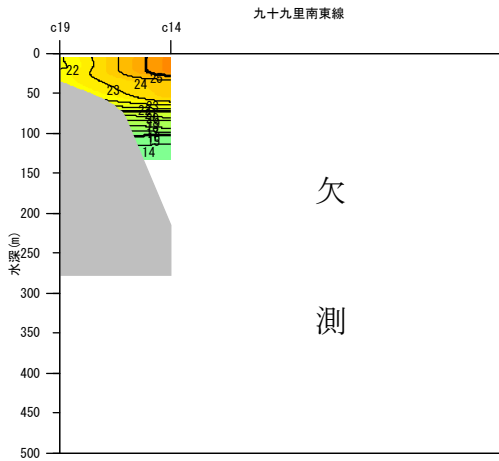
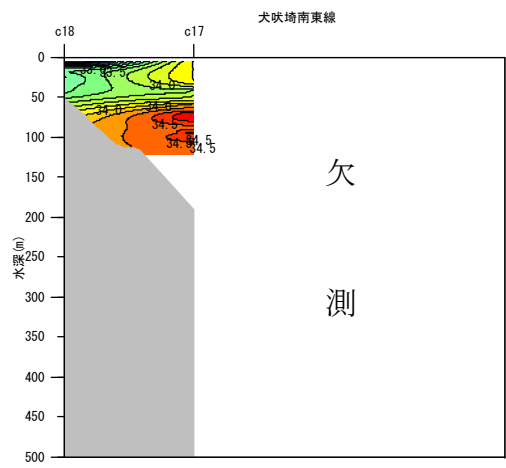
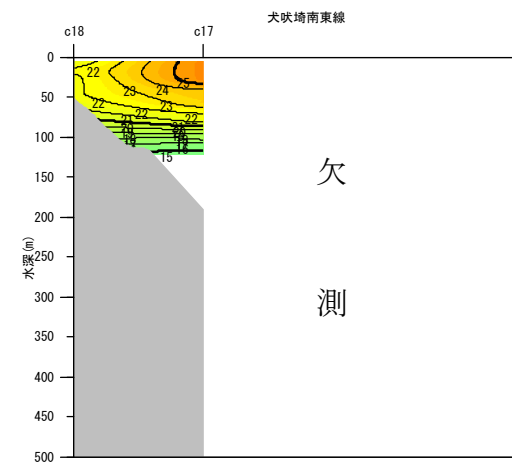


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）。

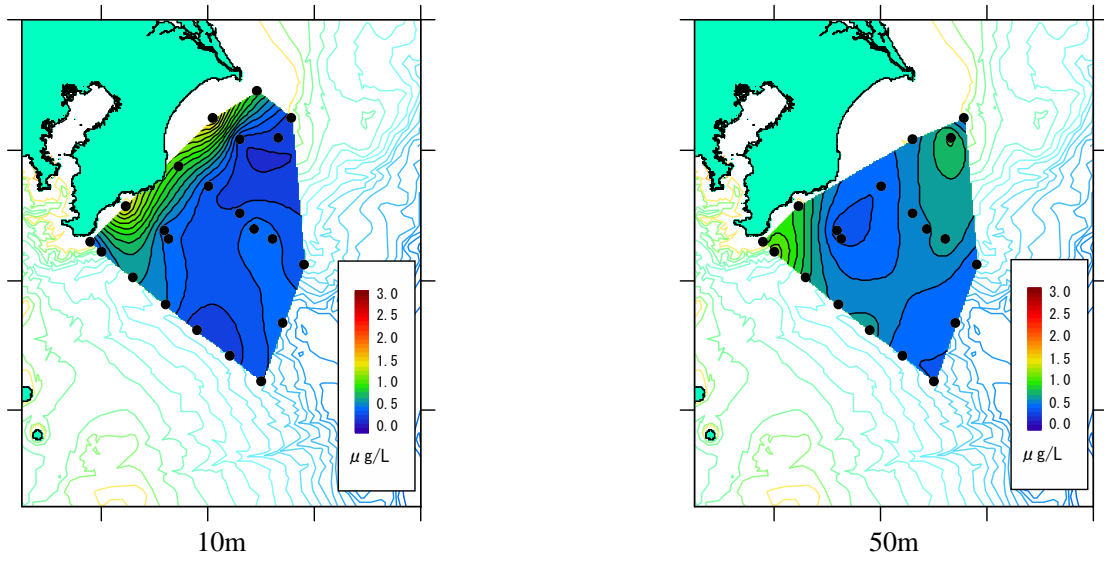
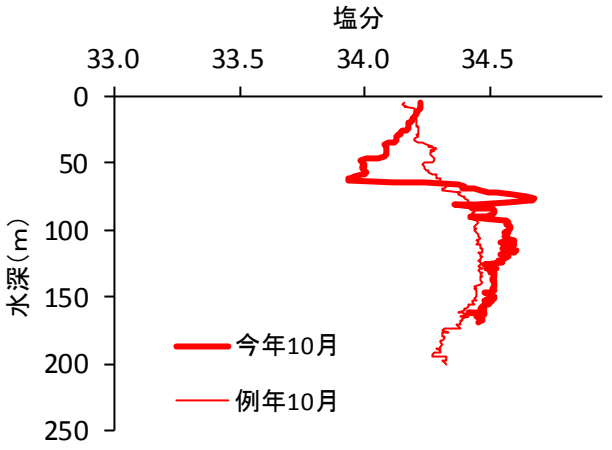
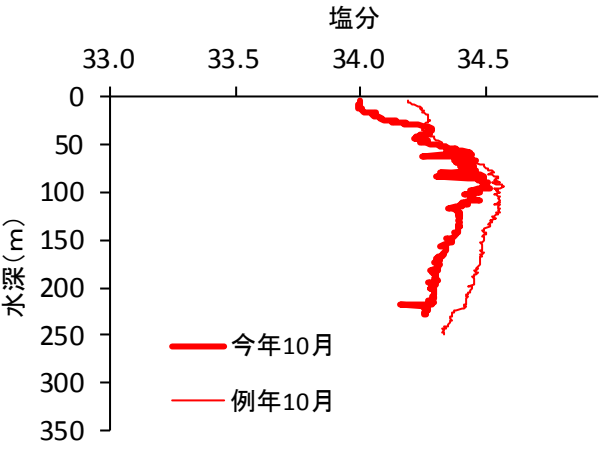
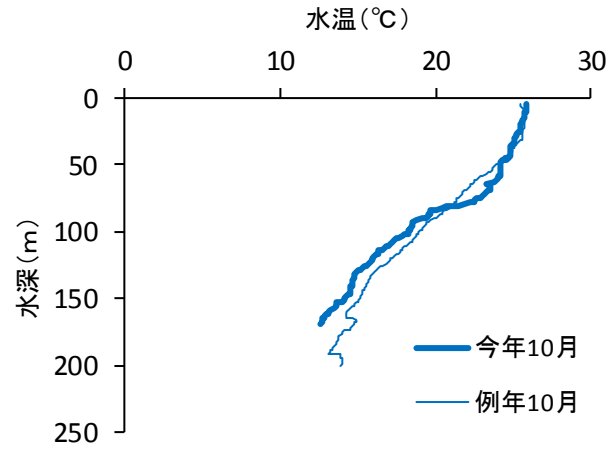
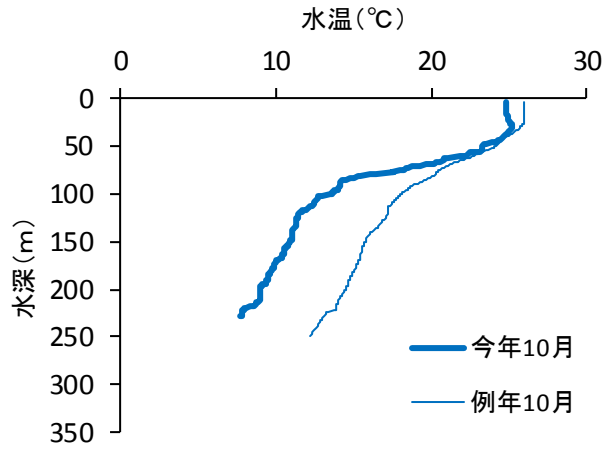


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 勝浦沖キンメ場・銚子沖台形場の水温塩分鉛直分布 (例年は過去10年平均)